



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月29日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東  
 コード番号 4387 URL <https://zuu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部部长 (氏名) 大井 賢治 TEL 03-4405-6102  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月21日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,847	40.2	△106	—	△125	—	△92	—
2019年3月期	1,317	39.5	182	155.0	167	138.9	107	139.4

(注) 包括利益 2020年3月期 △101百万円 (—%) 2019年3月期 107百万円 (143.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△44.23	—	△10.1	△9.7	△5.8
2019年3月期	52.61	49.65	13.8	17.1	13.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △19百万円 2019年3月期 ー百万円

(注) 1. 2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を実施しております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,354	893	62.8	402.89
2019年3月期	1,238	990	80.0	471.73

(参考) 自己資本 2020年3月期 851百万円 2019年3月期 990百万円

(注) 2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を実施しております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△283	△364	23	331
2019年3月期	119	△14	356	957

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,650 ～3,020	43.5 ～63.5	0 ～200	— ～—	0 ～200	— ～—	0 ～51	— ～—	0.00 ～24.25

（注）2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による状況を鑑み、レンジ形式により開示しております。詳細は、P.3「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：  
新規 3社 （社名）株式会社COOL SERVICES、株式会社COOL、株式会社ユニコーン  
除外 1社 （社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	2,112,430株	2019年3月期	2,099,090株
② 期末自己株式数	2020年3月期	75株	2019年3月期	40株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	2,097,809株	2019年3月期	2,037,602株

（注）2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を実施しております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,841	40.8	△47	—	△47	—	△50	—
2019年3月期	1,308	42.0	191	121.4	177	108.0	107	797.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△24.06	—
2019年3月期	52.73	49.76

（注）1. 2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を実施しております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭		
2020年3月期	1,378	933	933	65.2	425.57			
2019年3月期	1,248	989	989	79.2	471.41			

（参考）自己資本 2020年3月期 898百万円 2019年3月期 989百万円

（注）2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を実施しております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,400 ～2,770	30.3 ～50.4	0 ～400	— ～—	0 ～400	— ～—	0 ～268	— ～—	0.00 ～127.03

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や高い水準にある企業収益などを背景に、設備投資や個人消費は堅調に推移していましたが、年度の後半には新型コロナウイルス感染症の影響により足元で大幅に下押しされ、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2019年 日本の広告費』（2020年3月11日発表）によると、2019年のインターネット広告費は6年連続で二桁成長し、テレビメディアを超えて2.1兆円を超える市場規模となっております。加えて、矢野経済研究所『FinTech市場の実態と展望 2019』（2019年8月30日発行）によれば、成長を続ける国内FinTech市場は2018年度の0.2兆円から2022年度には1.2兆円ほどに達すると予測されております。

このような環境の中で、当社グループは「世界に、熱を。人に、可能性を。」というミッションの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層及び会員数の拡大に注力いたしました。また、金融サービスの直接展開に向けて、融資型クラウド・ファンディング運営会社及び株式型クラウド・ファンディング運営会社を当社グループの傘下に加え、体制構築を強力に推進いたしました。

以上の結果、自社メディアの訪問ユーザー数や会員数の増加及びPDCAシステム<sup>(注)</sup>の拡販、並びに案件の大型化に伴う1社当たりの単価増が寄与し、当連結会計年度の業績は、売上高は1,847,178千円（前連結会計年度比40.2%増）、営業損失は106,848千円（前連結会計年度は営業利益182,593千円）、経常損失は125,264千円（前連結会計年度は経常利益167,689千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は92,789千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益107,207千円）となりました。

(注) : PDCAシステムとは、当社の社内向け業務管理システムを汎用化開発して顧客向けに提供する商品を意味します。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は849,722千円となり、前連結会計年度末に比べ309,098千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が625,696千円減少し、売掛金が259,876千円増加したことによるものであります。固定資産は504,647千円となり、前連結会計年度末に比べ425,350千円増加いたしました。これは主にのれんが298,958千円増加し、敷金及び保証金が52,339千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,354,369千円となり、前連結会計年度末に比べ116,251千円増加いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は461,286千円となり、前連結会計年度末に比べ221,748千円増加いたしました。これは主に短期借入金が75,914千円増加し、未払金が109,317千円増加したことによるものであります。固定負債は一千円となり、前連結会計年度末に比べ8,388千円減少いたしました。これは資産除去債務を流動負債へ振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は、461,286千円となり、前連結会計年度末に比べ213,359千円増加いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は893,082千円となり、前連結会計年度末に比べ97,107千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失92,789千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.8%（前連結会計年度末は80.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は331,590千円となり、前連結会計年度末と比べ625,696千円の減少となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は283,773千円(前連結会計年度は119,791千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失107,661千円及び売上債権の増加259,852千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は364,911千円(前連結会計年度は14,443千円の支出)となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出244,095千円、敷金保証金の差入による支出50,769千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は23,560千円(前連結会計年度は356,083千円の収入)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出144,753千円があったものの、自己株式の処分による収入74,610千円、短期借入金の純増減額50,000千円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

2021年3月期においても、「ZUU online」を中心とする自社メディアのユーザー層の拡大、及び、同拡大を通して培ったノウハウを、顧客企業向けのメディア・プラットフォーム(情報が発信されることでユーザーが集うオンライン上の営業店の位置付け)の構築及び運用の支援等にも活かし、成長を目指します。

次期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による状況を鑑み、レンジ形式により開示することといたします。

売上高2,650,000千円～3,020,000千円を目指すとともに、営業利益0千円～200,000千円、経常利益0千円～200,000千円及び親会社株主に帰属する当期純利益0千円～51,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	957,287	331,590
売掛金	174,514	434,391
仕掛品	2,005	5,817
その他	25,531	79,475
貸倒引当金	△518	△1,552
流動資産合計	1,158,820	849,722
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,889	29,045
その他(純額)	4,345	10,150
有形固定資産合計	15,235	39,196
無形固定資産		
のれん	—	298,958
その他	126	5,612
無形固定資産合計	126	304,570
投資その他の資産		
投資有価証券	0	35,000
敷金及び保証金	58,847	111,186
繰延税金資産	4,873	13,144
その他	214	1,549
投資その他の資産合計	63,935	160,880
固定資産合計	79,296	504,647
資産合計	1,238,117	1,354,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,137	61,726
短期借入金	50,000	125,914
未払金	66,800	176,117
未払法人税等	49,044	639
資産除去債務	—	26,401
その他	53,556	70,487
流動負債合計	239,538	461,286
固定負債		
資産除去債務	8,388	—
固定負債合計	8,388	—
負債合計	247,927	461,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,540	467,842
資本剰余金	438,540	448,016
利益剰余金	98,008	△63,441
自己株式	△285	△337
株主資本合計	989,804	852,079
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	386	△1,041
その他の包括利益累計額合計	386	△1,041
新株予約権	—	34,945
非支配株主持分	—	7,099
純資産合計	990,190	893,082
負債純資産合計	1,238,117	1,354,369



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,317,818	1,847,178
売上原価	342,103	526,171
売上総利益	975,715	1,321,006
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	272,802	338,196
業務委託費	117,079	221,121
広告宣伝費	44,468	204,534
退職給付費用	1,680	7,153
貸倒引当金繰入額	518	1,034
その他	356,573	655,814
販売費及び一般管理費合計	793,122	1,427,855
営業利益又は営業損失(△)	182,593	△106,848
営業外収益		
受取利息	6	8
為替差益	—	66
助成金収入	203	—
その他	724	3,063
営業外収益合計	934	3,138
営業外費用		
支払利息	47	159
為替差損	597	—
株式公開費用	6,672	—
株式交付費	8,359	—
持分法による投資損失	—	19,603
その他	163	1,791
営業外費用合計	15,838	21,554
経常利益又は経常損失(△)	167,689	△125,264
特別利益		
段階取得に係る差益	—	17,602
特別利益合計	—	17,602
特別損失		
投資有価証券評価損	4,084	—
特別損失合計	4,084	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	163,604	△107,661
法人税、住民税及び事業税	53,202	589
法人税等調整額	3,194	△8,271
法人税等合計	56,397	△7,681
当期純利益又は当期純損失(△)	107,207	△99,979
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△7,189
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	107,207	△92,789

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	107,207	△99,979
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	67	△1,427
その他の包括利益合計	67	△1,427
包括利益	107,275	△101,407
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	107,275	△94,217
非支配株主に係る包括利益	—	△7,189

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	292,733	277,733	△9,199	—	561,266	318	318	561,584
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	107,207	—	107,207	—	—	107,207
新株の発行	160,807	160,807	—	—	321,615	—	—	321,615
自己株式の取得	—	—	—	△285	△285	—	—	△285
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	67	67	67
当期変動額合計	160,807	160,807	107,207	△285	428,537	67	67	428,605
当期末残高	453,540	438,540	98,008	△285	989,804	386	386	990,190

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	453,540	438,540	98,008	△285	989,804	386	386	—	—	990,190
当期変動額										
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	△92,789	—	△92,789	—	—	—	—	△92,789
新株の発行	14,302	14,302	—	—	28,604	—	—	—	—	28,604
自己株式の取得	—	—	—	△143,322	△143,322	—	—	—	—	△143,322
自己株式の処分	—	—	△68,659	143,269	74,610	—	—	—	—	74,610
連結子会社株式の取得による持分の増減	—	△4,826	—	—	△4,826	—	—	—	—	△4,826
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,427	△1,427	34,945	7,099	40,616
当期変動額合計	14,302	9,475	△161,449	△52	△137,724	△1,427	△1,427	34,945	7,099	△97,107
当期末残高	467,842	448,016	△63,441	△337	852,079	△1,041	△1,041	34,945	7,099	893,082

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	163,604	△107,661
減価償却費	3,454	5,048
株式報酬費用	—	24,592
のれん償却額	—	10,496
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	518	1,034
持分法による投資損益 (△は益)	—	19,603
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△19,603
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,084	—
受取利息	△6	△8
助成金収入	△203	—
支払利息	47	159
株式交付費	8,359	—
株式公開費用	6,672	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△38,408	△259,852
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,079	41,589
未払金の増減額 (△は減少)	△3,763	99,625
その他	9,739	△30,851
小計	149,018	△215,829
利息の受取額	6	8
利息の支払額	△47	△159
法人税等の支払額	△29,186	△67,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,791	△283,773
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,690	△9,547
投資有価証券の取得による支出	—	△35,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△244,095
敷金及び保証金の差入による支出	△11,696	△50,769
その他	△56	△25,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,443	△364,911
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	50,000
株式の発行による収入	306,583	28,604
非支配株主からの払込みによる収入	—	5,250
新株予約権の発行による収入	—	10,353
自己株式の取得による支出	△285	△144,753
自己株式の処分による収入	—	74,610
その他	△214	△502
財務活動によるキャッシュ・フロー	356,083	23,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	△361	△571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	461,070	△625,696
現金及び現金同等物の期首残高	496,216	957,287
現金及び現金同等物の期末残高	957,287	331,590

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

当社グループは、フィンテック・プラットフォーム事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、フィンテック・プラットフォーム事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	471.73 円	402.89 円
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	52.61 円	△44.23 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	49.65 円	— 円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 当社株式は、2018年6月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新規上場日から当連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。
4. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は 親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	107,207	△92,789
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益金額又は普通株式に係る親会社株主に帰 属する当期純損失金額(△)(千円)	107,207	△92,789
普通株式の期中平均株式数(株)	2,037,602	2,097,809
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株式に帰属する当期純利益調整額(千 円)	—	—
普通株式増加数(株)	121,503	—
(うち新株予約権(株))	(121,503)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(ストックオプションの発行)

当社は、2020年5月29日開催の取締役会において、当社従業員に対しストックオプションとして新株予約権を発行することを決議いたしました。

詳細につきましては本日公表の「税制適格ストックオプションの発行に関するお知らせ」をご参照ください。